

神根中だより

～歌声と笑顔あふれる学校～

令和4年7月号

学校教育目標
主体的に学ぶ、
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

「本気」とは、「迷いがない」こと…とは？

校長 松村 一人

現在、埼玉県学校総合体育大会の川口市予選会の真っ最中です。3年生を中心に、どの生徒も一生懸命にプレーする姿は感動的です。この原稿を書いている時点では、男子バスケット部と女子バレー部が優勝、女子バスケット部が準優勝し、県大会出場を決めています。



さて、今年度の本校教職員の共通ポロシャツ背中には「本気」の文字を入れました。この「本気」という文字には、ある「ひらがなの言葉」が隠されています。それは…

まよいなし → まぎ → 本気

「まよいなし」という言葉です。この文字は、埼玉県春日部市に在住の浦上秀樹さんという方が考え出されたものです。浦上氏は、21歳の時に筋肉が徐々に減少していく進行性の病気を発症し、38歳頃から口に筆をくわえて書く「こころ Moji」を書き始めたそうです。「こころ Moji」の中でこの「本気」が気に入った私が、3年3組の種村ゆきなさんに依頼して、浦上氏の「こころ Moji」を真似させていただいて、ポロシャツの文字を書いてもらいました。

(なお、この学校だよりの題字「神根中だより」も今年の5月号から種村さんが書いてくれたものを用いています。上記のひらがなの「まよいなし」ももちろん種村さんの書です。)

本気とは「まよいなし」か。なるほどね。迷いなしで、本気で取り組むことが大事なのか…そうだなー。中学生に贈りたいような良い言葉だなー、って思いませんか？私も最初はそういう意味だと思っていました。でも浦上氏の解説を読んだら、そうではなかったのです。

～まよいなし～

本気とは、「本当の気持ち」。無理やり100%の力を出すことが本気ではなく、本当の気持ちに立ち戻ることが本気なのです。気持ちがウソをついていたら力を出すことなんて無理。だから、100%の力を出せるときは、本当の気持ちでやっている自分なんです。

「なんか、力を発揮できてないなあ…」っていうときは、一旦立ち止まって耳を澄ませてみてください。本当の気持ちを自分自身にきくチャンスです。

(一部抜粋と加筆)

これを読んで、目からウロコが落ちて、感動しました。あっ、これは私が44期生と45期生の入学式の時の式辞で贈った言葉「楽しいことしか本気になれない」と同じことではないか。無理やり何でも本気でやるということじゃなくて、「本気になれる楽しいこと」を見つけようということ。楽しければ、迷いなんてない。楽しく、迷いがなければ、本気になれる。

皆さん、自分の心の声をよく聞いてあげてくださいね。夏休みも自分を大切に。